

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立 中条小 学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価（10月1日）				最終評価（2月末）			
							□指標に係る 取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期（中期）経営 目標の達成状況	プロセス 評価	達成 評価	総合 評価
2	○「子ども主体のび」 全教室展開 ～実感を伴う深い学 び・充実した学び～ ○望ましい集団づくり の実現 ～自他への理解～ ○信頼される学校づく り ～学ぶ実感・やりがい の実感～	★		○教材の本質を捉え、 児童の実態をふまえた 授業づくり ○関りを通して学び合 い、自己及び集団のよ りよいあり方について 考える児童の育成 ○教職員のやりがい・ 充実感の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性や学習到達等に応じた指導を行うとともに、個別の学習課題に取り組めるように単元計画を工夫していく。 ・伴走者としての役割を推進するために、低中高グループで月2回教材研究を行う。 ・授業や学校行事等を通して、児童が相互に関わり合える場を児童とともに創造する。 ・リフレクションを通して自己及び集団のよりよいあり方について考え合う場の充実を図る。 ・便りやHPを通じて、日々の学びを積極的に発信していく。 ・教科・領域間の関連を把握して効率化を図ったり、会議の統合等で時間確保を行ったりしていく。 ・教職員同士で子ども主体の学びについて交流する時間を計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートで、学ぶことに対する肯定的評価を80%以上にする。 ・児童のリフレクションをもとに、実感を伴う学びになっていたかを振り返る。 ・個別最適に学ぶ単元について交流を行う。 ・児童アンケートで、自己肯定感・自己有用感に関する肯定的評価を80%以上にする。 ・教職員の時間外勤務時間月45時間未満を毎月達成する。 ・教職員アンケートで、「『子どもが自ら学ぶ』授業づくりにあてる時間がある」の肯定的評価を90%以上にする。 								

[プロセス評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

[達成評価の評価基準]

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。